

令和2年度  
消費者の意識に関する調査  
結果報告書

—食品ロスの認知度と取組状況等に関する調査—

令和3年4月  
消費者庁消費者教育推進課  
食品ロス削減推進室

## 【調査概要】

### 1. 調査目的

本調査は、不特定多数の消費者に対して、食品ロスの認知度と取組状況等について調査を行い、食品ロス削減に関する消費者の現状や求められる政策等を把握し、食品ロス削減に向けた施策の検討に資することを目的とする。

### 2. 調査対象

全国の満18歳以上の男女5,000人

※国勢調査（2015年）における性別、年代、地域の比率を基に、調査協力した事業者に登録されているモニターから抽出。

### 3. 調査時期

令和3年3月

### 4. 調査方法

インターネット調査

### 5. 調査項目

Q1：あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。当てはまるものを1つお選びください。

Q2：あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。当てはまるものを全てお選びください。

### 6. 調査協力

株式会社クロス・マーケティング

### 7. その他

Nとは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答総数又は分類別の回答者数のことである。「複数回答」と記載のある質問は、複数回答を認めているため、回答した人の合計値はNを上回ることがある。

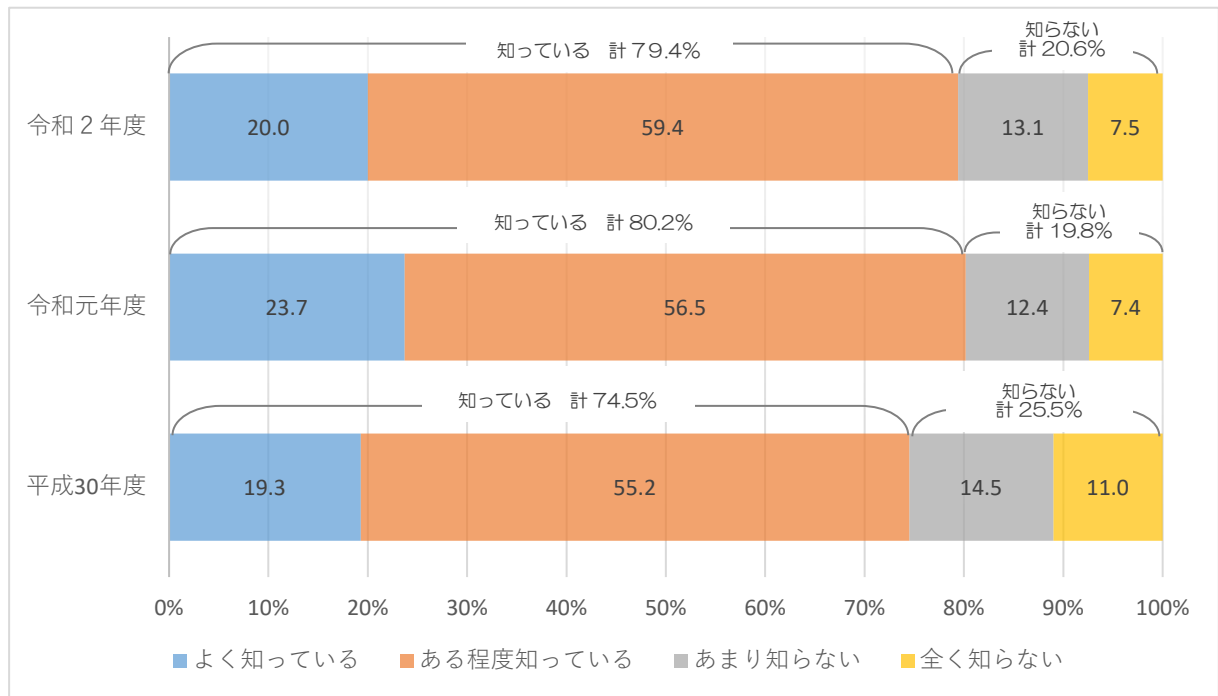
## 【調査結果】

### 1 食品ロス問題の認知度

食品ロス問題を知っているか聞いたところ、「知っている」と回答した人が79.4%（「よく知っている」20.0%+「ある程度知っている」59.4%）であった。一方で、「知らない」と回答した人が20.6%（「あまり知らない」13.1%+「全く知らない」7.5%）であった。（図1）

図1 食品ロス問題の認知度

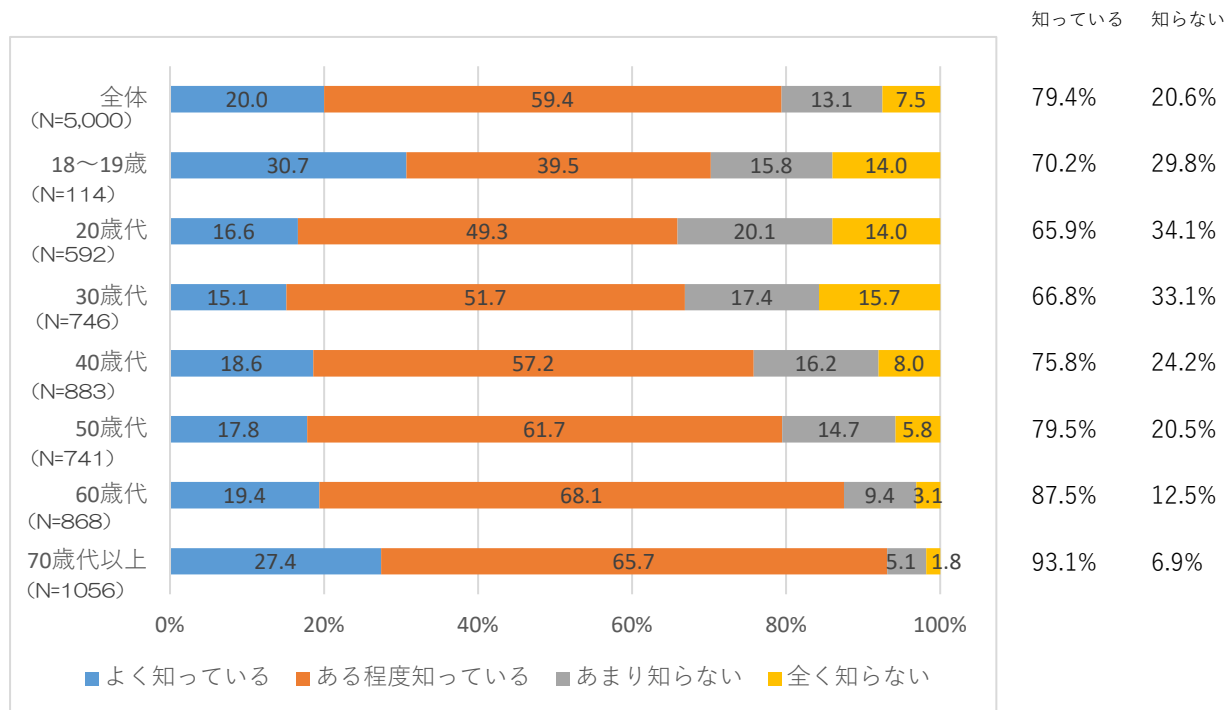
令和2年度 N=5,000、  
令和元年度まで N=3,000



## 2 食品ロス問題の年代別認知度

食品ロス問題の認知度を年代別に集計したところ、「知っている」と回答した人の割合が最も高かった年代は70歳代以上で93.1%（「よく知っている」27.4%+「ある程度知っている」65.7%）であった。一方で「知らない」と回答した人の割合が最も高かった年代は20歳代で34.1%（「あまり知らない」20.1%+「全く知らない」14.0%）となっている。（図2）

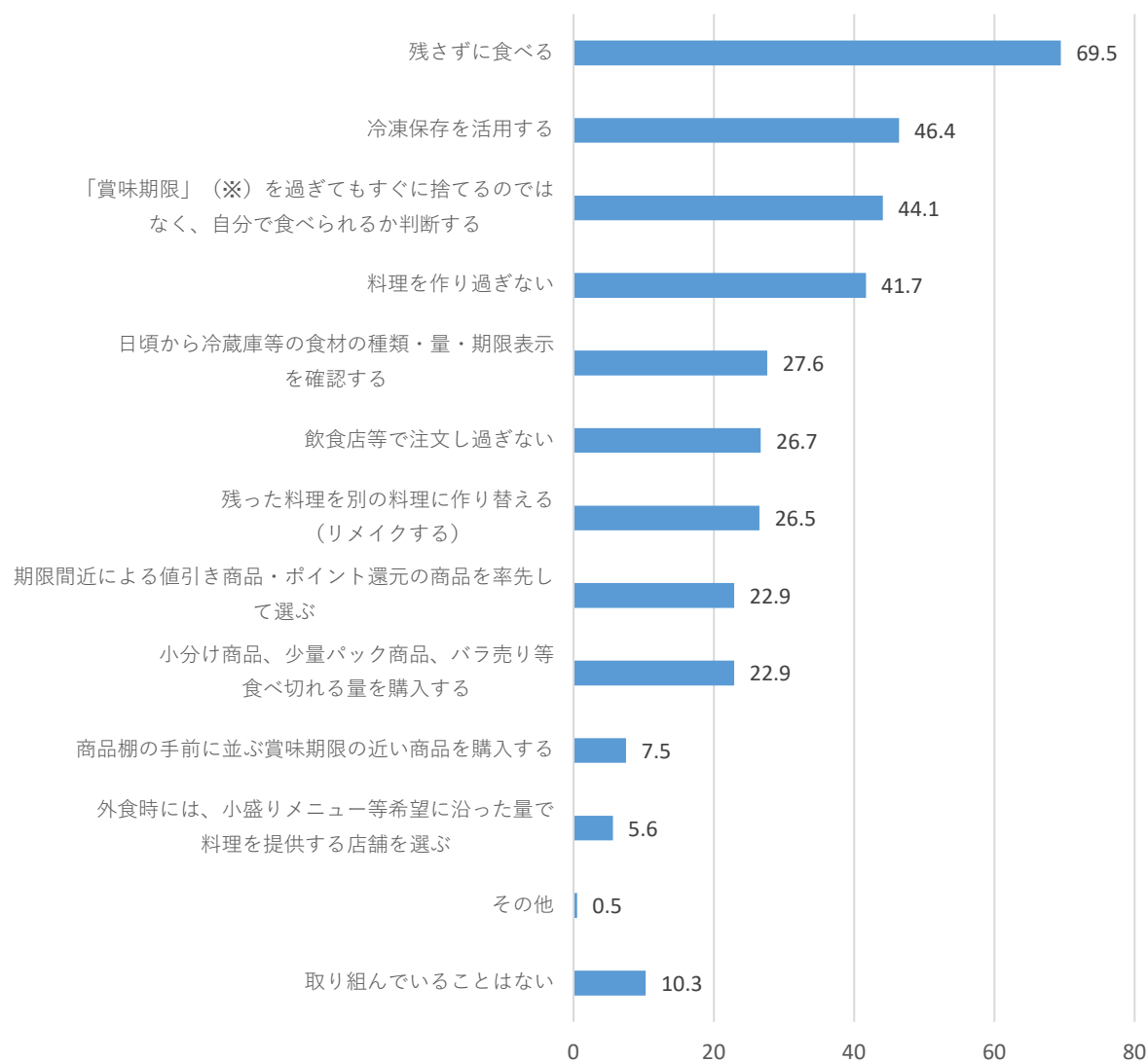
図2 食品ロス問題の年代別認知度



### 3 食品ロスを減らすための取組

食品ロスを減らすための取組について聞いたところ、「残さずに食べる」と回答した人が69.5%と最も多くなっている。一方で、「取り組んでいることはない」と回答した人は10.3%であった。(図3)

図3 食品ロスを減らすための取組 (複数回答) (N=5,000)



※「賞味期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べることができる期限のことで、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。

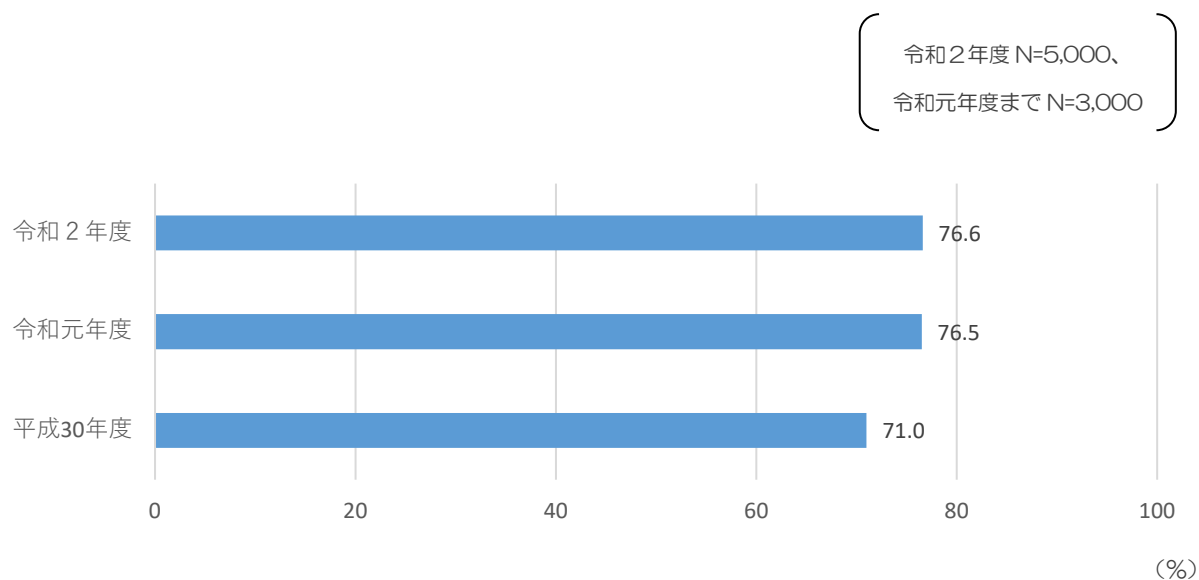
(%)

#### 4 食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合

食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合を集計したところ、食品ロス問題を「知っている」と回答し、食品ロスを減らすための「取組を行っている」と回答した人は76.6%であった。

令和元年度の調査結果と比較したところ、食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合は微増した。(図4)

図4 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む人の割合



## F. 1 あなたの性別をお知らせください。

N=5,000

1) 男性	(48.5)	2) 女性	(51.5)
-------	--------	-------	--------

## F. 2 あなたの年齢をお知らせください。

N=5,000

1) 18 歳から 19 歳	(2.3)	5) 50 歳代	(14.8)
2) 20 歳代	(11.8)	6) 60 歳代	(17.4)
3) 30 歳代	(14.9)	7) 70 歳以上	(21.1)
4) 40 歳代	(17.7)		

## F. 3 あなたのお住まいをお知らせください。

N=5,000

1. 北海道	(5.5)	17. 石川県	(0.9)	33. 岡山県	(1.7)
2. 青森県	(0.8)	18. 福井県	(0.7)	34. 広島県	(2.4)
3. 岩手県	(0.9)	19. 山梨県	(0.7)	35. 山口県	(1.0)
4. 宮城県	(1.9)	20. 長野県	(1.7)	36. 徳島県	(0.6)
5. 秋田県	(0.7)	21. 岐阜県	(1.2)	37. 香川県	(0.9)
6. 山形県	(0.7)	22. 静岡県	(2.2)	38. 愛媛県	(1.0)
7. 福島県	(1.0)	23. 愛知県	(6.8)	39. 高知県	(0.5)
8. 茨城県	(1.1)	24. 三重県	(1.5)	40. 福岡県	(5.4)
9. 栃木県	(1.0)	25. 滋賀県	(1.0)	41. 佐賀県	(0.6)
10. 群馬県	(0.8)	26. 京都府	(1.9)	42. 長崎県	(1.2)
11. 埼玉県	(5.6)	27. 大阪府	(7.4)	43. 熊本県	(0.9)
12. 千葉県	(4.7)	28. 兵庫県	(4.5)	44. 大分県	(0.7)
13. 東京都	(12.8)	29. 奈良県	(1.2)	45. 宮崎県	(0.8)
14. 神奈川県	(8.0)	30. 和歌山県	(0.4)	46. 鹿児島県	(1.0)
15. 新潟県	(1.7)	31. 鳥取県	(0.4)	47. 沖縄県	(0.7)
16. 富山県	(0.7)	32. 島根県	(0.3)		

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、我が国では、推計（※）で年間約612万トンに上る「食品ロス」が発生しています。「食品ロス」は、食料資源の浪費や環境への負荷などの観点から問題となっており、その削減が重要となっています。

※ 平成 29 年度推計（農林水産省・環境省）

**Q. 1 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。**

以下の項目のうち、当てはまるものを1つお選びください。 N=5,000

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1) よく知っている   | (20.0) |
| 2) ある程度知っている | (59.4) |
| 3) あまり知らない   | (13.1) |
| 4) 全く知らない    | ( 7.5) |

**Q. 2 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。**

以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。 N=5,000

- |   |        |
|---|--------|
| 1) 料理を作り過ぎない                            | (41.7) |
| 2) 残さずに食べる                              | (69.5) |
| 3) 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）             | (26.5) |
| 4) 冷凍保存を活用する                            | (46.4) |
| 5) 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する           | (27.6) |
| 6) 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する | (44.1) |
| 7) 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量を購入する       | (22.9) |
| 8) 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する                | ( 7.5) |
| 9) 期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ        | (22.9) |
| 10) 飲食店等で注文し過ぎない                        | (26.7) |
| 11) 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ  | ( 5.6) |
| 12) その他                                 | ( 0.5) |
| 13) 取り組んでいることはない                        | (10.3) |